

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2017年11月13日

ミサワホーム・東北ミサワホームが協賛

「津波の教え石」を石巻市荻浜地区に建立

- 石巻市荻浜中学校の総合的な学習の時間「はまなす学習」の取り組みに賛同
- 東日本大震災での津波被害の教訓を後世に伝える石碑「津波の教え石」を建立
- 「津波の教え石」の建立を記念し、10月28日に除幕式を開催

ミサワホーム株式会社(代表取締役社長執行役員 磯貝匡志)と東北ミサワホーム株式会社(本社 宮城県仙台市/代表取締役社長執行役員 下村秀樹)は、このたび宮城県石巻市荻浜中学校の総合的な学習の時間「はまなす学習」で取り組んだ「津波の教え石」プロジェクトに協賛し、石巻市荻浜地区に「津波の教え石」を建立しました。建立を記念し、10月28日には除幕式が開催されました。

ミサワホームグループは、東日本大震災以降、応急仮設住宅や災害公営住宅の建設、震災復興応援住宅「MISAWA HEART」の販売、義援金の寄付など被災地の復興支援活動に取り組んできました。2012年以降、復興ボランティア活動をしている団体を中心となり取り組んでいる「津波の教え石」プロジェクトへの支援もその一環であり、これまで釜石市根津地区、気仙沼市本吉地区、釜石市唐丹地区、東松島市、石巻市名振浜地区で5基の「津波の教え石」と25基の津波到達地点の石碑の建立に協賛しています。

今回、公益財団法人仙台 YMCA^{*1} やワイズメンズクラブ国際協会^{*2} 東日本区などの支援のもと、石巻市荻浜中学校の総合的な学習の時間「はまなす学習」で「津波の教え石」の建立に取り組むことになり、ミサワホームと東北ミサワホームが協賛しました。「はまなす学習」は、ふるさとの良さを見直し、課題を見つけ、生徒自身で解決することを目的とし、今年は「地域と関わり、地域に貢献しよう」を学習テーマとしています。荻浜地区では、東日本大震災で半数以上の家屋が全壊・流出し、犠牲者も多く出ました。この石碑は、震災での記憶を風化させず、犠牲になられた方々への慰霊と津波被害による教訓を「教え」として後世に伝えることを目的としています。石碑のデザインやメッセージは生徒たちがチームに分かれて検討し、生徒や先生、地域の方々の投票により決定しました。さらに、地元の石材店の協力のもと生徒たちがレタリングと字彫りに挑戦するなど制作にも携わっています。10月28日には建立を記念し、荻浜地区において除幕式を開催、石巻市長をはじめ関係者や荻浜中学校の生徒・保護者、地元住民など約70名が出席しました。

ミサワホームグループは、東北エリアをはじめ事業活動を行うあらゆる地域において、今後も様々な社会貢献活動に積極的に取り組んでいく考えです。

^{*1} : YMCA とは、1844年英国に生まれ、現在は世界119の国と地域、5,800万人以上が活動する世界最大規模の非営利団体。

^{*2} : YMCA との協働・活動支援などを通し、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体。

■「津波の教え石（宮城県石巻市荻浜）」除幕式の様子



■碑文

忘れぬ命 明日へ繋ぐ

2011年3月11日午後2時46分
激しい地震と津波が荻浜地区を襲った。

荻浜地区では24名の命を失い
恐怖と悲しみが残った。

だから後世に伝えてほしい。
「ここなら大丈夫」と言わないで、
さらに高いところへ逃げ、
自分の命は自分で守ってほしい。
この命、未来へ繋ぐ…

荻浜中学校一同

以上

この件に関する問い合わせ先

ミサワホーム(株) 経営企画部 コーポレートコミュニケーション課

中田義規 佐野遥香

TEL 03-3349-8088 / FAX 03-5381-7838

E-mail: Haruka_Sano@home.misawa.co.jp